

プロキノ映画『山宣渡政労農葬』 フィルムヴァリエーションに関する考察

雨宮幸明

はじめに

本論は1929年2月に正式発足した映画制作団体プロキノ（日本プロレタリア映画同盟）によって同年3月に制作された映画作品『山宣渡政労農葬』の3種類のフィルムヴァリエーションについて考察したものである。

プロキノの成立と活動について、ここでは簡単にその概要を説明しておきたい。プロキノは1920年代から1930年代前半に活躍した映画運動団体であり正式名称を「日本プロレタリア映画同盟」と称した。1927年に野田醤油工場争議をパテベビー撮影機によって撮影した佐々元十の映画製作をもとに組織的活動が展開され、全日本無産者芸術団体協議会NAPF（ナップ）所属として1929年2月正式に設立、同年3月の『山宣渡政労農葬』撮影を経て1930年5月に第一回作品公開「プロレタリア映画の夕」を開催した。その映画制作と上映活動は、労働者階層の熱烈な支持を受けるが、その後、官憲の執拗な上映妨害により映画製作に困難をきたし1934年には組織的活動を停止した¹⁾。

プロキノ映画『山宣渡政労農葬』は映画団体プロキノの初期制作活動における代表作となった映画作品であった。しかしプロキノ映画『山宣渡政労農葬』に関する先行研究は、プロキノの運動史をまとめた富士田元彦、Abe Marc Nornesなどの先行研究に映画作品の若干の記述があるほかは、具体的な作品論に関する研究論文は確認できておらず、総合的な映画作品としての研究は全く進んでいないのが現状である²⁾。

これらのプロキノ映画の作品研究が遅れている原因としては、プロキノに関する研究が、牧野守の機関紙復刻にみられる書誌的研究の達成とプロキノメンバーであった並木晋作による総合的な運動史『「プロキノ」全史』刊行以降に、研究層の広がり認められなかったことがあげられる³⁾。プロキノ映画研究は、研究対象となる映画自体が、現在でも各種博物館及び限定的な特殊上映でしか参照・閲覧できないことが多く、このことは研究層の広がりを拡充するうえで最も困難な問題であったことは間違いない。本論はこのような研究の現状に鑑み、これまで研究されることが少なかったプロキノ映画作品の実態を、フィルムヴァリエーションの分析を通して明らかにする試みである。

1. プロキノ映画『山宣渡政労農葬』制作過程

本論の研究の対象となる映画『山宣渡政労農葬』をはじめプロキノ制作・監修によるものと確認できる映画作品は6作品であり、これにプロキノ賛助団体にあたる童映社によるアニメ作

品『煙突屋ペロー』(1930年)1作品を含めても計7作品の映画作品が現存しているのみである⁴⁾戦前のプロキノによる映画作品の総数は計48本とされており、現存作品がこのように少数である背景には、昭和戦前期における治安維持法と映画検閲制度による表現の制限、さらにプロキノ自体への弾圧の背景が推測される。プロキノ現存作品の戦後最初の上映については佐藤洋氏の研究からも明らかなように、1955年6月28日の今村太平によるものであることが現在では確認されている⁵⁾。戦前に官憲によるフィルム押収を怖れたプロキノメンバーらによって戦後まで保管されたプロキノ映画作品は6作品、

- ・『山宣告別式』(プロキノ東京支部制作/1929年)
- ・『山宣渡政労農葬』(プロキノ京都支部制作/1929年)
- ・『第12回東京メーデー』(岩崎昶総指揮、プロキノ東京支部制作/1931年)
- ・『土地』(脚本・演出 高周吉/撮影 岡秀雄/1931年)
- ・『スポーツ』(早稲田大学アートオリンピック実行委員会制作・プロキノ東京支部指導/1931年)
- ・『全線』(脚本・演出 古川良/撮影 岡秀雄・嵐玄海/1932年)

である⁶⁾。これら6作品の1955年戦後初上映に至るまでの詳しい発掘経緯は現在でも不明である。しかし、映画史研究家・牧野守氏の証言によれば、川崎市市民ミュージアムに所蔵されているフィルムは、この1955年6月に上映された6作品のフィルムを基としてリプリントされたものであることなど確認されている⁷⁾。これらの東京における発掘・上映とは別に『山宣渡政労農葬』が京都府宇治市の労農党代議士、山本宣治の生家である旅館業花やしき浮舟園に戦前より現在まで保管されているほか、京都府文化博物館にも前述した現存6作品とほぼ同内容のフィルムが所蔵されていること、『山宣告別式』もまた大原社会研究所にオリジナルフィルムの所蔵が確認されている。

本稿では『山宣渡政労農葬』3種類の現存フィルムの具体的な内容照合を行う。3本の現存フィルムの来歴をまとめておく(以下、便宜的にA～Cと表記する。)

フィルムA 『山宣渡政労農葬』:花やしき所蔵

1929年3月15日の撮影を終えた後に、プロキノより花やしきに贈られ戦後まで保管されてきたもの。

フィルムB 『山宣渡政労農葬』:川崎市市民ミュージアム所蔵

牧野守氏の証言と佐藤洋氏の研究から、1955年に今村太平によって上映されたフィルムを基にして、リプリントされたフィルムが1988年に収蔵されたものと判明している。

フィルムC 『京都に於ける山宣葬1929年』:京都文化博物館所蔵

収蔵経緯は詳しく判明しないが京都府フィルムライブラリー創設初期、1974年にフィルム所有者より購入・収集されたリプリントフィルムと考えられる。タイトルは他の2つと異なるが、以下詳述するように、内容においては、『山宣渡政労農葬』のフィルムヴァリエーションの1つである。

これら3種類のフィルムは、大きく異なった編集をほどこされていることが判明した。現存プロキノ作品において映画内容に関する編集上の違いが確認できるものは他に35ミリ映画『山宣告別式』があるが、『山宣渡政労農葬』に確認されるような大幅な編集上の違いはない⁸⁾。で

はなぜ、『山宣渡政労農葬』にのみ編集上の顕著な違いが認められるのだろうか。

『山宣渡政労農葬』の制作経緯を述べていきたい。1929年3月5日、治安維持法に反対していた京都出身の労農党代議士山本宣治は、七生議団黒田保久二によって殺された。『山宣渡政労農葬』は東京での葬儀を終えて、故郷・宇治へと遺骨となって帰還した山本宣治の葬儀を同年3月9日より15日にわたってプロキノを制作主体として、撮影記録したものである。

関係者の一人である松崎啓次の記録によれば、プロキノ京都支部によって3月6日に撮影が企画され、3台の16ミリカメラを用いて、9日に京都に到着した遺骨とそれを迎える群衆、さらに列車にて宇治へ向かう遺族、花やしきまで官憲と追悼者の列を撮影、11日から13日までフィルム現像、編集、及び宇治の工場と農村にて追加撮影、14日の夜に試写を行い、15日には最後の葬儀会場、京都・三条会館での葬儀を撮影したということである⁹⁾。

プロキノ賛助員であった岡田桑三の単独撮影によって、3月8日東京大学仏教青年会館で行われた山本宣治の葬儀を撮影した35ミリ映画『山宣告别式』は完成していた¹⁰⁾。『山宣渡政労農葬』は東京における葬儀の撮影を引き継ぐ形で制作されたかのように思われるが、実際の制作資金を提供したのは山本宣治の生家、旅館業花やしきであった。

この山本家とプロキノとの間を取り持ったのは、当時設立されたナップ京都支部の一員として活動していた田村敬男である。京都における葬儀撮影の発案は彼によるものであり、プロキノ京都支部は田村との連絡を3月6日に大阪淀城跡にて行ったと当時のプロキノ京都支部メンバー北川鉄夫が証言している¹¹⁾。プロキノ京都支部は制作資金の提供を受け映画『山宣渡政労農葬』を完成した。岩崎昶によれば現像された作品は花やしきに寄贈された¹²⁾。ここからは『山宣渡政労農葬』が、花やしき所蔵フィルムと翌年1930年第一回公開「プロレタリア映画の夕」にて上映されたプロキノフィルムとの二系統に分岐した経緯を確認することができるのである。

2. 『山宣渡政労農葬』フィルムヴァリエーション内容照合

ここではプロキノ映画『山宣渡政労農葬』の内容照合について、巻末資料「『山宣渡政労農葬』フィルム照合表」をもとに、3種類のフィルムヴァリエーションを確認していきたい。照合表では便宜的に『山宣渡政労農葬』を9つの場面（シークエンス）に分類している。それらの場面における各フィルムの収録内容・収録時間の照合は以下のようにまとめられる。今回は各映像資料につき元のフィルム素材よりテレシネを経てVTR・DVD変換された資料を参照した。花やしき所蔵映像資料は1秒30コマ再生、川崎市民ミュージアム所蔵映像資料は1秒24コマ再生、京都文化博物館所蔵映像資料は1秒18コマ再生である。各場面の数字は計測されたおおよその上映時間である。また川崎市市民版にのみ収録された各プロキノ作品冒頭には、上映作品の解説字幕が挿入されているが、これは牧野守・元プロキノメンバーによって結成された「プロキノを記録する会」によって主催された1980年5月における一般公開時に作成されたものであると考えられ、今回の考察からは除外している。

【フィルムヴァリエーション内容照合一覧】

場面（シークエンス）	A 花やしき	B 川崎市民ミュージアム	C 京都文化博物館
①【タイトル】	00:00～00:08	00:00～00:18	00:00～00:18
②【驚く人々】	00:09～00:49	収録なし	収録なし
③【葬儀委員】	収録なし	00:19～00:51	00:19～00:58
④【追悼群衆】	00:50～03:59	00:51～03:14	00:59～04:06
⑤【宇治へ】	03:59～10:37	03:14～08:32	04:06～11:16
⑥【葬儀】	10:38～11:13	08:32～09:05	11:17～12:04
⑦【遺児たち】	11:14～11:44	収録なし	収録なし
⑧【農村と工場】	11:44～13:16	収録なし	収録なし
⑨【三条青年会館】	13:17～15:27	09:05～11:01	12:05～13:50
総カット数	194 カット	146 カット	142 カット
総収録時間	15:27	11:01	13:50
総コマ数	22272	15920	14938
総フィート数	557	398	373

以下に各場面の簡単な説明を付記しておく。

- ①【タイトル】 映画の表題が提示される。
- ②【驚く人々】 当時葬場で歌われた「山宣追悼歌」の歌詞，及び宇治の人々が山本宣治死去の報道に驚き，花やしきへ駆け出す様子が映し出される。
- ③【葬儀委員】 山本宣治の葬儀を計画する葬儀委員たちの姿が撮影されている。
- ④【追悼群衆】 東京から京都駅に帰郷した山本宣治の遺骨を迎える労働者・農民の群衆が撮影されている。
- ⑤【宇治へ】 京都駅を発った葬儀団が宇治駅に到着し，そこから花やしきまでの葬列の移動が撮影されている。
- ⑥【葬 儀】 花やしきでの親族による葬儀が撮影されている。
- ⑦【遺児たち】 山本宣治の子供たちが無邪気に遊ぶ様子が映し出される。
- ⑧【工場と農村】 宇治周辺の農村の様子，工場と労働者が撮影され，プロキノメンバーが官憲による取り締まりの再現を演じた場面が挿入されている。
- ⑨【三条青年会館】 3月15日に行われた京都三条青年会館における山本宣治の最後の葬儀が撮影されている。

比較・照合すると以下の内容が判明する（各フィルムのカット編集部分の説明に関しては巻末資料「『山宣渡政労農葬』フィルム照合表」を参照）。

- [1]、映画場面の収録数においてはAが8場面（欠如場面は③【葬儀委員】B/C-cut004～B/C-cut008のみ）と最も多い。B，Cは欠如場面②【驚く人々】A-cut002～A-cut008，⑦【遺児たち】A-cut139～A-cut146，⑧【農村と工場】A-cut147～A-cut168が同じであり，収録場面はともに6場面であるほか，カット数が重なる個所も多く，場面①【タイトル】と⑨【三条青年会館】以外にはBCに場面編集の違い（カットの時間的差異はのぞく）は確認できない。

- [2]、場面①【タイトル】についてABCの各編集に違いが確認できる。A、Bにおいては同タイトル字幕『山宣渡政労農葬』A-cut001=B-cut002が確認できるが、Cはタイトル字幕が『京都に於ける山宣葬1929年』C-cut001となっている。他にBCにはAにはないプロキノ制作マークがB/C-cut001に挿入されているほか、B/C-cut003に「日本プロレタリア映画同盟京都支部制作」の字幕が挿入されている。
- [3]、場面⑤【宇治へ】において、B、Cに共通の編集箇所がみられる。これらは葬儀進行の時系列に矛盾する場面編集となっている。まず、宇治へ向かう汽車内の遺族のカットB/C-cut053～B/C-cut056が映し出された後の3カットB/C-cut057～B/C-cut059に、それ以前の場面④【追悼群衆】の内容が挿入されている。このカットはそれぞれAのカットと対応しており、A-cut033=B/C-cut057、A-cut034=B/C-cut058、A-cut027=B/C-cut059だが、遺族が京都駅を発ち、宇治行きの汽車に乗り込んでから、その遺族を京都駅で迎える群衆を映すのは矛盾した内容である。さらにこの後に挿入されるカットB/C-cut060～B/C-cut061では宇治の葬列が葬儀場である花やしきの近く、浮舟島付近にさしかかる場面を映しているのだが、しかし、遺族がようやく宇治駅に到着し葬列を主導して花やしきに向かうのは5カット後のB/C-cut065からであるから、遺族とともに葬列が宇治駅を出発する前に、目的地である花やしき周辺の浮舟島のカットが挿入されるという葬儀の進行内容の矛盾が確認できる。これらのカットの対応はA-cut081=B/C-cut060、A-cut108=B/C-cut061となっている。最後に宇治の場面が挿入された後のカットB/C-cut062～B/C-cut064では再び場面④の京都駅の群衆が映し出されるのだが、これも先述のようにAでは遺族が宇治行きの汽車に乗り込む前の場面にあたり、B/C-cut057～B/C-cut059同様の矛盾が確認できる。これらのカット対応はA-cut044=B/C-cut062、A-cut045=B/C-cut063、A-cut046=B/C-cut064である。以上のようにAとB/C-cut057～B/C-cut064の比較から、B、Cの映像編集において葬儀進行の時系列の矛盾を確認することができる。
- [4]、場面⑨【三条青年会館】においてA、B、Cの最終部の編集が異なっている。A-cut170～A-cut173では3月15日に京都駅に向かう山本宣治の遺骨が到着した場面が挿入されるが、B/C-cut124～126は三条会館での葬儀を伝える新聞記事が実写で映されるほか字幕が挿入されている。その後のA-cut174～A-cut177とB/C-cut127～B/C-cut131はカット数が若干異なるがほぼ同内容である。だが三条会館へ参列者を送るタクシーの行列が登場する場面ではA-cut178～A-cut183の6カットにおいてB、Cにはみられない市街を走り去るタクシーの近接した撮影カットが挿入されている。最後に三条会館の葬場の場面でも同じくA、B、Cの編集は異なっている。A、Bには河上肇が弔問に訪れる場面（A-cut190=B-cut139）、その他の弔問客の姿（A-cut191=B-cut140）が共通して映されている。しかし、Aはこの後に、字幕「白色テロルを粉碎せよ」（A-cut192）、『共産党宣言』末文からの引用と思われる字幕「萬国のプロレタリア団結せよ」（A-cut193）が配置され終幕となっており、Bは山本宣治の墓（B-cut141～B-cut142）、山本宣治遺影（B-cut143～B-144）、赤旗（B-cut145）と編集がなされ、CにおいてはA、Bにあった河上肇の登場場面が一切削除されているほか、Aの字幕、Bの山本宣治の墓は挿入されていない。Cの最終部はBと同内容であるB/C-cut124～B/C-cut138の後は山本宣治遺影（C-cut139～C-cut140）と赤旗（C-cut141）が映し出され、終

幕となっている

以上のようにA, B, Cの映像編集がそれぞれ異なっていることを確認できた。

3. プロキノ上映活動と内務省検閲

前章で指摘したA, B, Cにおける映像編集の違いはどのようにして生じたのか。本章ではこの問題を考察したい。ここで参照したいものは戦前の映画検閲制度である。

1929年当時、風俗及び公安秩序維持の目的から内務省は「活動写真「フィルム」検閲規則」にもとづいて映画の検閲をおこなっていた。当初、プロキノが主に制作する16ミリなど小型映画はこの検閲対象外とされていたが、しかし『山宣渡政労農葬』撮影後の翌年1930年に、プロキノが大規模な上映活動「プロレタリア映画の夕」を予定する頃には、プロキノの上映活動もその検閲対象となり、プロキノは公開前にフィルムを内務省に提出し上映許可を得なくてはならなくなった¹³⁾。

ここでA, B, Cのフィルムを確認すると、B, Cのフィルム冒頭部分に当時の検閲番号パンチ7020と検閲印がフィルムに写りこんでいることが判明した¹⁴⁾。B, Cは検閲の対象とされていたのである。この検閲印はAには確認できないものである。

さらにA, B, Cのタイトル部を確認すると、比較結果〔2〕にあるように、制作団体を示すプロキノマークが採用されていることから、B, Cのフィルムが、プロキノの上映活動において活用されたフィルムであったことは間違いない¹⁵⁾。花やしきに所蔵されたAには無論プロキノマークは挿入されていない。B, Cは検閲の対象とされ公開上映をするために上映許可を得る必要があったと考えられる。

当時の映画検閲の記録を参照すると、内務省警保局『検閲時報』昭和6年第18号に検閲番号7020として「京都に於ける山宣葬」というフィルムCと同じタイトルの映画が、「公安」を理由として、5メートルの字幕削除や労働者の団結を求める「労働者農民の政府を作れ」等を映した画像が「切除」という処分を受けていることがわかる¹⁶⁾。この字幕部分は現在残されているどのフィルムにもその存在を確認することができない。

しかし、画像削除に該当する部分A-cut017=B/C-cut025～A-cut018=B/C-cut026の2カットについては現存が確認できている。『山宣渡政労農葬』と思われる作品の検閲記録はこれのみであり、ほかに画像と字幕の削除指示はない。残された検閲記録から『山宣渡政労農葬』におけるフィルム削除の内容がすべて解明できるわけではない。プロキノが壊滅する1934年までの1930年5月から1932年10月の『検閲時報』においても、25回のその他のプロキノ映画の検閲記録を確認することができるが、『検閲時報』自体に残された記録は本来、主に商業的に管理・上映された劇映画を目的としたものであり、それとは異なる自主上映形態であったプロキノの実際の上映活動の全てを反映しているとは限らない。

それでも、内務省検閲が上映フィルムの内容を削除した強力な原因であったことは間違いない。そのことは、Aの場面⑨に収録されている『共産党宣言』からの引用「萬国のプロレタリア団結せよ」が、B, Cにないことから、たやすく理解できよう。たとえ『検閲時報』に検閲

記録がなくても、映画上映のためプロキノ内部で検閲を確実に通過させようと、映画内容を自主規制した可能性も考えられるのである。その意味で、プロキノの上映フィルムは以上のように内務省検閲によって絶えず可変性の中にさらされていたと考えられる。

以上のように考察すると、1929年3月の制作完了時に花やしきに引き渡されたAが、検閲によって内容を削除されることがなかったと考えるならば、前章の比較結果〔1〕にあるようにB、Cと比較してAが最も多くの場面を収録していることも理解できる。このことは、完成直後に花やしきに収蔵された『山宣渡政労農葬』が内務省検閲を受けなかったために完全な内容のまま保管されたとする岩崎昶の証言とも一致する¹⁷⁾。

しかし、内務省検閲だけでは、A、B、Cに認められる編集上の差異のすべてを説明することはできない。

その理由としては比較結果〔3〕におけるB、Cの葬儀進行の時系列の矛盾は、プロキノフィルムの編集に様々な要因があることを示唆するものだと、考えることができるからである。たとえばB、Cのフィルム編集者が、Aにおける時系列に沿った映像編集をそもそも知らなかった可能性を示すほか、相次ぐ検閲、取締、上映事故などによって損傷したフィルムの切れ端を無理にでも接続しなくてはならない状況にあったか、この時系列に矛盾のある映像編集こそが「正当」であると考えたなんらかの根拠があったか、などここからは多くの編集上の可能性を考えることができるのである。岩崎昶が指摘するように、映写事故等でのフィルム損傷も考えられる。プロキノが制作にリバーサルフィルムを用いたことも問題であり、撮影ネガフィルムがそのまま上映ポジフィルムとなることで、損傷が起きた場合、原盤ネガフィルムがないために、フィルム内容が消失した可能性は高いのである¹⁸⁾。『山宣渡政労農葬』のフィルムヴァリエーション解明には、検閲の可能性だけでなく、これらの複合的要因を明らかにする必要があると考える。

このようにB、Cにおける上映フィルムが撮影完了直後のAの内容から改変されていた可能性は高い。では、このようなプロキノ上映活動と異なり一種のプライベートフィルムとして残されたA＝花やしき所蔵フィルムはどのような保管経緯をたどったのだろうか。

4. 花やしき所蔵フィルム修復経緯について

戦前の花やしきにおいて、この映画がプロキノによる1929年の試写以降に公的に上映された記録は確認できていない。戦後にいたるまで花やしき『山宣渡政労農葬』フィルムは無事保管され官憲による没収を免れたと考えることができる。しかし戦後において『山宣渡政労農葬』が上映可能になった時、フィルム劣化とその修復が問題となったのである。

戦後すぐに行われた山本宣治の墓前祭に参加した北川鉄夫の証言によれば「記録映画の方はいまも遺宅で保存されているが大分損じて来ているので山宣会ができたのを機会に補修復製がされることになった」とある¹⁹⁾。このことは当時帰国したばかりの大山郁夫を会長に「京都山宣会」が発足し、花やしきの所蔵するフィルム修復のための募金活動が1951年に行われた経緯を指している。山本宣治の義弟、山中平治旧蔵「山宣葬映画フィルム複製基金帳」を参照すると、その修復趣旨を会長である大山郁夫が書き、広く宇治市民にフィルム修復のための募金を呼び掛けていることがわかる²⁰⁾。この募金によって修復資金が集まり遺族の山本英治がこの修復を

プロキノメンバーであった北川鉄夫に依頼したとされている。

戦後、私は息子の英治氏から、フィルムがひどく傷んできたのでプリントを作りたいからやってほしいといわれた。それで私は大映の佐藤春人に話して、彼の手で直接には最初のフィルムを整理し、新たに一本のフィルムが作られた。画面がすっかり剥げている部分もあった。それらはプリントでは除いたが、英治氏は記念として丹念にそうした何もないセルロイドだけになったフィルム断片まできちんと保存された²¹⁾。

と北川の証言が残っている。この修復で北川鉄夫はプロキノが制作した1929年撮影のオリジナルフィルムをもとに「画面が傷んで膜がすっかり剥げている部分」を削除し、複製として「新たに一本のフィルム」を作成した。この時点で『山宣渡政労農葬』のフィルムが修復によって改変されていたことがわかる。『山宣渡政労農葬』オリジナルフィルムについては残念ながら現在ではその所蔵が確認できていない。このように募金を得て複製された花やしき『山宣渡政労農葬』だが、しかし、その後、再度の修復が必要とされることとなる。

1964年の「山宣虐殺三十五周年」を記念に研究者佐々木敏二を中心とした「同志社山宣会」の研究調査によって、それまで関係者以外には公開されることがなかった大量の山本宣治の蔵書、書簡、その他資料とともに映画『山宣渡政労農葬』が「発見」されるという事態が起きるのである。佐々木はこの資料発見経緯を記録映画とすることを発案する。同時に傷みが確認された『山宣渡政労農葬』の修復も行われることとなった。これらの記録映画撮影とフィルム修復には映画監督小坂哲人と『山宣渡政労農葬』撮影の発案者であった田村敬男が参加した。佐々木の記録には次のようにある。「現在の『嵐の日の記録』という京都での山宣渡政労農葬のフィルムは小坂、田村両氏の全面的な協力で再生され、それに山宣資料発掘、フィルム再生当時の努力を解説部分として追加したものである。」²²⁾

修復にあたった小坂哲人の手帳からも修復経緯の一部が判明しており、修復が始まった1964年6月3日の記述には、「午後から順番どおりつなぎおかしいカットを少しげずって原版ネガを作る工作をする」という文面がみられる。ここでも北川鉄夫の修復作業と同様に、修復作業においていくらかのフィルムの改変があったことが示唆されている²³⁾。

映画『山宣渡政労農葬』はこのようにして1964年に制作された記録映画『嵐の日の記録』に『山宣渡政労農葬』のフィルムが「接合」される形で再製されることとなった。現在花やしきに所蔵されているフィルムが、この当時の編集によって作成されたものを基としていることは、フィルム解析によっても裏付けられている²⁴⁾。

まとめ

花やしき所蔵フィルムは、戦前の検閲削除とは異なるが、戦後のフィルム修復という可変性の中におかれ、現在まで保管されてきた。第2章比較結果〔1〕において述べたように、フィルムAにおいて場面③【葬儀委員】が欠如したのは、こうした経緯によるものであると思われる。

戦前に内務省検閲を受けることがなかったAが、北川鉄夫、小坂哲人らの修復作業を経て継

承されつつ、その内容に改変があったであろうことは、プロキノ上映活動において検閲を受けたと考えられる B, C との 2 系列のフィルムヴァリエーションを考えるうえで、重要な参照点となることは間違いない。フィルムヴァリエーションの問題を考察することは、現存するプロキノ映画『山宣渡政労農葬』の過去から現在にいたる制作と継承の経緯を明らかにする試みにほかならなかった。それはプロキノ映画作品が、今日まで現存してきた意味を考えることに繋がっている。

今回の調査により、プロキノ映画『山宣渡政労農葬』3 種類のフィルムヴァリエーションを照合し、A, B, C, の中で A が最も完成直後のオリジナルに近い内容を留めている可能性が高いことが明らかになった。また B, C については内務省検閲の記録を参照しその痕跡を確認した一方で、それ以外にも複合的な要因が推定された。さらに A における修復経緯の一部を明らかにすることができた。本論は以上のようにプロキノ映画『山宣渡政労農葬』フィルムヴァリエーションに関する考察を論述したものである。

なお、今回の研究ではフィルム照合の内容を主な対象とした。A, B, C の編集時期についてはまだ確定できていない。これらの点については、今後の研究課題とする。

付記

フィルム A は、花やしき代表取締役社長山本哲治氏、及び宇治山宣会会長藪田秀雄氏より DVD 変換資料閲覧許可と花やしき所蔵フィルム調査許可をそれぞれにいただいた。

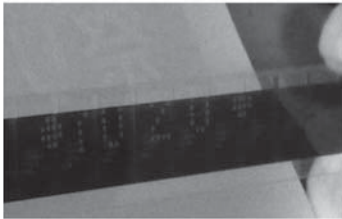
フィルム B は、川崎市市民ミュージアム学芸員江口浩氏より館内閲覧の許可をいただいた。

フィルム C は、京都文化博物館映像資料室長森脇清隆氏より館内閲覧と写真撮影の許可をいただいた。関係者の方々には深く御礼申し上げる次第である。

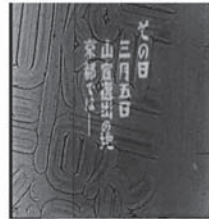
注

- 1) 並木晋作『「プロキノ」全史』全史』合同出版 1986 年 2 月参照
- 2) 富士田元彦「プロキノの運動 (一)」『現代映画の起点』紀伊国屋新書 1965 年 5 月, Abe Marc Nornes “The innovation of Prokino” *JAPANESE DOCUMENTARY FILM University of Minnesota 2003* 参照。
- 3) 牧野守・プロキノを記録する会『昭和初期左翼映画雑誌』戦旗刊行会 1981 年 11 月
- 4) 並木晋作「あとがきにかえて」『「プロキノ」全史』合同出版 1986 年 2 月, 『昭和 5 年の影絵映画『煙突屋ペロー』話のキャッチボール No.6』新司健編 1986 年参照
- 5) 佐藤洋「プロキノ映像と歴史をいかに継承するか」, 2010 年 3 月 2 日シンポジウム「プロレタリア芸術とアヴァンギャルド」研究発表資料, 及び佐藤洋所蔵今村太平書簡「時実象平宛書簡 1955 年 6 月 19 日消印」参照
- 6) 前掲, 並木晋作『「プロキノ」全史』全史』参照
- 7) 2010 年 1 月牧野守氏宅にてインタビュー聴取
- 8) 原田健一「プロキノ制作「山宣告別式」をめぐって」『Fs』1996 年 9 月号参照
- 9) 松崎啓次「京都山宣葬の撮影」『戦旗』1929 年 5 月参照
- 10) 川崎賢子・原田健一『岡田桑三 映像の世紀』(P23 ~ 24) 平凡社 2002 年 9 月参照
- 11) 田村敬男「同志社山宣会再建に思う」『山宣研究』第 1 号京都・同志社山宣会 1977 年 6 月, 田中敬男「ナッパ京都支部創立のころ」『京都民報』1978 年 5 月 14 日, 北川鉄夫「ものがたり京都の映画」『京都民報』1972 年 6 月 25 日参照

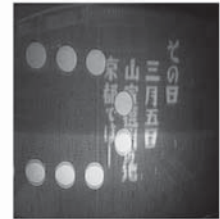
- 12) 岩崎昶『日本映画私史』(P34) 朝日新聞社 1977年11月参照
- 13) 「活動写真「フィルム」検閲規則」第1条(1925年5月26日内務省令第10号), 及び牧野守『日本映画検閲史』(P249~261) バンドラ 2003年3月参照
- 14) 前掲「活動写真「フィルム」検閲規則」第3条に「検閲官廳ハ前條ノ規定ニ依リ検閲ノ申請アリタル「フィルム」ニシテ公安, 風俗マタハ保健上障害ナシト認ムルトキハ「フィルム」ニ檢閱済ノ檢印ヲ押捺シ説明臺本ニソノ旨ヲ記入ス」とある。写真(B検閲番号パンチ跡)はフィルムのエッジコード部に一部パンチがかかり, 数字が消失し判別しにくいが検閲番号「7020」を確認できる。検閲印についてはフィルム写真による判別が難しいため, 上映時の画像から確認する。



(B 検閲番号パンチ跡)



(B 検閲印)



(C 上映時のパンチ番号)

- 15) 「プロキノマーク決定す」『プロレタリア映画』1931年2月号参照
- 16) 検閲番号7020「京都に於ける山宣葬」『検閲時報』第18号内務省警保局1931年6月参照。記載「切除」処分理由は「公安」で, 「字幕の部」8カ所が「切除五米」, 「画面の部」に「労働者農民の政府を作れ」を揮毫せる旗もの見ゆる箇所切除一米」とある。
- 17) 前掲, 岩崎昶『日本映画私史』(P34) 参照
- 18) 同前
- 19) 北川鉄夫「山宣会」『新日本文学』第6号1949年5月
- 20) 山中平治旧蔵『山宣葬映画フィルム複製基金帖』1951年5月参照(宇治山宣会管理)
- 21) 北川鉄夫「山宣葬の十日間」『山宣研究』第4号京都・同志社山宣会1976年5月
- 22) 佐々木敏二「同志社山宣会発足のころ」『或る生きざまの軌跡』田村政男編1980年
- 23) 小坂哲人の手帳については小坂哲人夫人, 小坂麗子氏より資料閲覧の許可を得た。
- 24) 花やしき浮舟園所蔵フィルム調査は2010年7月に始まり現在も調査中である。これまでの調査で現在花やしきが所蔵している16ミリフィルム4本(ネガ1本, ポジ3本)の内容がすべて『嵐の日の記録』と『山宣渡政労農葬』の接合されたリプリントであることが確認され, リーダー部「39. 7. 22」の記載から, 一部のフィルムが佐々木敏二が記録する『嵐の日の記録』試写日の前日1964年7月22日に現像された初号プリントをもととしていることが判明。花やしきはその後1972年NHK番組に『山宣渡政労農葬』を資料提供し, その経緯で保管用ネガフィルム1本をNHKより寄贈された。フィルムAはこのネガフィルムを基としている。なお, 花やしき所蔵の劣化フィルム解析には株式会社IMAGICA ウェストの協力を得た。

『山宣渡政労農葬』フィルム照合表

注記 各カット最初の場面を画像表示し、通し番号を cut001 より表示した。また、各カット終了時間をカット表記の下に示す。

A=花やしき						B=川崎市市民ミュージアム					C=京都文化博物館					
①		②					①		③			①		③		
cut001	cut002	cut003	cut004	cut005	cut006	cut001	cut002	cut003	cut004	cut005	cut001	cut002	cut003	cut004	cut005	
00:08	00:14	00:27	00:29	00:32	00:41	00:03	00:12	00:18	00:26	00:32	00:04	00:10	00:18	00:28	00:34	
		④						④					④			
cut007	cut008	cut009	cut010	cut011	cut012	cut006	cut007	cut008	cut009	cut010	cut006	cut007	cut008	cut009	cut010	
00:45	00:49	00:51	00:54	00:55	00:57	00:34	00:42	00:51	00:54	00:57	00:37	00:47	00:58	01:01	01:04	
cut013	cut014	cut015	cut016	cut017	cut018	cut011	cut012	cut013	cut014	cut015	cut011	cut012	cut013	cut014	cut015	
01:00	01:02	01:06	01:09	01:16	01:26	01:00	01:02	01:03	01:05	01:07	01:07	01:10	01:13	01:16	01:20	
cut019	cut020	cut021	cut022	cut023	cut024	cut016	cut017	cut018	cut019	cut020	cut016	cut017	cut018	cut019	cut020	
01:28	01:31	01:34	01:36	01:44	01:46	01:10	01:18	01:19	01:23	01:25	01:29	01:30	01:35	01:37	01:39	
cut025	cut026	cut027	cut028	cut029	cut030	cut021	cut022	cut023	cut024	cut025	cut021	cut022	cut023	cut024	cut025	
01:49	01:52	01:55	02:00	02:07	02:11	01:27	01:28	01:32	01:34	01:40	01:40	01:44	01:45	01:46	02:06	
cut031	cut032	cut033	cut034	cut035	cut036	cut026	cut027	cut028	cut029	cut030	cut026	cut027	cut028	cut029	cut030	
02:15	02:40	02:49	02:56	02:58	03:00	01:44	01:46	01:49	01:51	01:51	02:11	02:13	02:15	02:20	02:24	
cut037	cut038	cut039	cut040	cut041	cut042	cut031	cut032	cut033	cut034	cut035	cut031	cut032	cut033	cut034	cut035	
03:02	03:04	03:07	03:09	03:15	03:20	01:53	01:56	01:57	02:04	02:11	02:34	02:37	02:48	02:52	02:55	
cut043	cut044	cut045	cut046	cut047	cut048	cut036	cut037	cut038	cut039	cut040	cut036	cut037	cut038	cut039	cut040	
03:23	03:29	03:30	03:32	03:35	03:39	02:14	02:17	02:19	02:34	02:38	02:58	02:59	03:12	03:21	03:21	

A=花やしき						B=川崎市市民ミュージアム					C=京都文化博物館				
cut049	cut050	cut051	cut052	cut053	cut054	cut041	cut042	cut043	cut044	cut045	cut041	cut042	cut043	cut044	cut045
03:42	03:44	03:48	03:49	03:50	03:53	02:42	02:44	02:48	02:48	02:55	03:22	03:27	03:29	03:32	03:41
⑤															
cut055	cut056	cut057	cut058	cut059	cut060	cut046	cut047	cut048	cut049	cut050	cut046	cut047	cut048	cut049	cut050
03:55	03:58	03:59	04:01	04:04	04:07	02:58	03:02	03:04	03:06	03:08	03:45	03:48	03:51	03:54	03:57
⑤						⑤					⑤				
cut061	cut062	cut063	cut064	cut065	cut066	cut051	cut052	cut053	cut054	cut055	cut051	cut052	cut053	cut054	cut055
04:11	04:24	04:31	04:35	04:43	04:58	03:12	03:14	03:17	03:20	03:23	04:02	04:06	04:10	04:13	04:16
⑤															
cut067	cut068	cut069	cut070	cut071	cut072	cut056	cut057	cut058	cut059	cut060	cut056	cut057	cut058	cut059	cut060
05:16	05:18	05:22	05:32	05:35	05:38	03:25	03:30	03:30	03:33	03:41	04:20	04:21	04:21	04:24	04:34
⑤															
cut073	cut074	cut075	cut076	cut077	cut078	cut061	cut062	cut063	cut064	cut065	cut061	cut062	cut063	cut064	cut065
05:42	05:46	05:52	05:57	06:09	06:25	03:48	03:51	03:54	03:56	03:57	04:43	04:48	04:49	04:49	04:51
⑤															
cut079	cut080	cut081	cut082	cut083	cut084	cut066	cut067	cut068	cut069	cut070	cut066	cut067	cut068	cut069	cut070
06:34	06:42	06:48	06:54	06:56	07:05	04:00	04:09	04:11	04:17	04:19	04:57	05:06	05:26	05:49	05:50
⑤															
cut085	cut086	cut087	cut088	cut089	cut090	cut071	cut072	cut073	cut074	cut075	cut071	cut072	cut073	cut074	cut075
07:09	07:12	07:14	07:18	07:22	07:25	04:24	04:32	04:45	5:06	05:12	05:56	06:12	06:28	06:39	06:48
⑤															
cut091	cut092	cut093	cut094	cut095	cut096	cut076	cut077	cut078	cut079	cut080	cut076	cut077	cut078	cut079	cut080
07:29	07:34	07:45	07:45	08:03	08:08	05:13	05:18	05:20	05:23	05:26	06:49	06:56	06:57	07:04	07:10

プロキノ映画『山宣渡政芳農葬』フィルムヴァリエーションに関する考察（雨宮）

A=花やしき						B=川崎市市民ミュージアム					C=京都文化博物館				
cut097	cut098	cut099	cut100	cut101	cut102	cut081	cut082	cut083	cut084	cut085	cut081	cut082	cut083	cut084	cut085
08:18	08:24	08:25	08:27	08:29	08:32	05:28	05:31	05:37	05:49	06:03	07:15	07:22	07:36	07:55	08:04
cut103	cut104	cut105	cut106	cut107	cut108	cut086	cut087	cut088	cut089	cut090	cut086	cut087	cut088	cut089	cut090
08:35	08:41	08:48	08:52	08:57	08:57	06:19	06:24	06:31	06:38	06:39	08:20	08:28	08:38	08:40	08:41
cut109	cut110	cut111	cut112	cut113	cut114	cut091	cut092	cut093	cut094	cut095	cut091	cut092	cut093	cut094	cut095
09:07	09:12	09:14	09:20	09:22	09:24	06:42	06:47	06:52	07:03	07:18	08:46	08:53	09:01	09:15	09:26
cut115	cut116	cut117	cut118	cut119	cut120	cut096	cut097	cut098	cut099	cut100	cut096	cut097	cut098	cut099	cut100
09:27	09:43	09:49	09:51	09:55	09:57	07:20	07:27	07:33	07:38	07:55	09:29	09:39	09:49	09:56	10:21
cut121	cut122	cut123	cut124	cut125	cut126	cut101	cut102	cut103	cut104	cut105	cut101	cut102	cut103	cut104	cut105
10:00	10:04	10:10	10:12	10:14	10:23	07:58	07:59	08:02	08:04	08:07	10:23	10:24	10:29	10:31	10:36
				⑥											
						cut106	cut107	cut108	cut109	cut110	cut106	cut107	cut108	cut109	cut110
						08:07	08:09	08:10	08:13	08:20	10:38	10:41	10:43	10:48	10:58
cut127	cut128	cut129	cut130	cut131	cut132	cut111	cut112	cut113	cut114	cut115	cut111	cut112	cut113	cut114	cut115
10:28	10:29	10:29	10:37	10:38	10:43	08:23	08:28	08:32	08:33	08:38	11:02	11:10	11:16	11:17	11:24
cut133	cut134	cut135	cut136	cut137	cut138	cut116	cut117	cut118	cut119	cut120	cut116	cut117	cut118	cut119	cut120
10:52	10:59	11:04	11:09	11:12	11:14	08:46	08:49	08:52	08:54	08:55	11:36	11:40	11:46	11:49	11:50
⑦															
cut139	cut140	cut141	cut142	cut143	cut144						cut116	cut117	cut118	cut119	cut120
11:15	11:16	11:20	11:27	11:36	11:39						11:36	11:40	11:46	11:49	11:50

A=花やしき

						⑧
cut145	cut146	cut147	cut148	cut149	cut150	
11:40	11:44	11:51	11:56	12:00	12:04	
cut151	cut152	cut153	cut154	cut155	cut156	
12:06	12:11	12:13	12:30	12:35	12:42	
cut157	cut158	cut159	cut160	cut161	cut162	
12:42	12:51	12:52	12:52	12:53	12:54	
cut163	cut164	cut165	cut166	cut167	cut168	
12:57	12:59	13:02	13:08	13:09	13:15	
						⑨
cut169	cut170	cut171	cut172	cut173	cut174	
13:16	13:21	13:24	13:27	13:30	13:35	
cut175	cut176	cut177	cut178	cut179	cut180	
13:35	13:39	13:445	13:53	13:56	14:00	
cut181	cut182	cut183	cut184	cut185	cut186	
14:06	14:08	14:10	14:33	14:37	14:41	
cut187	cut188	cut189	cut190	cut191	cut192	
14:43	14:45	14:47	14:51	15:05	15:07	
cut192	cut193	cut194				
15:07	15:14	15:27				

B=川崎市市民ミュージアム

					⑨
cut121	cut122	cut123	cut124	cut125	
08:55	08:59	09:05	09:08	09:15	
cut126	cut127	cut128	cut129	cut130	
09:16	09:21	09:23	09:25	09:31	
cut131	cut132	cut133	cut134	cut135	
09:33	09:52	09:54	09:56	10:00	
cut136	cut137	cut138	cut139	cut140	
10:03	10:05	10:07	10:11	10:24	
cut141	cut142	cut143	cut144	cut145	
10:36	10:42	10:45	10:45	10:58	
cut146					
11:01					

C=京都文化博物館

					⑨
cut121	cut122	cut123	cut124	cut125	
11:50	11:56	12:04	12:07	12:15	
cut126	cut127	cut128	cut129	cut130	
12:16	12:22	12:25	12:28	12:34	
cut0131	cut132	cut133	cut134	cut135	
12:37	13:07	13:11	13:16	13:21	
cut136	cut137	cut138	cut139	cut140	
13:24	13:27	13:30	13:35	13:38	
cut141	cut142				
13:46	13:50				